

4/27(金)成功させよう！スマイル米作り



今年度初の授業参観日に、5年生全員で貴重な学習を行うことができました。講師として、地域支援ボランティアの「だんどの会」様に来ていただき、たくさんのお話を教えてもらいました。この日を迎えるまでの期間、事前学習に取り組んできた子どもたち。専用ファイルには、「収穫したお米で、どんな料理を食べたいか？」「知りたいことや教えてもらいたいこと」などが、ていねいに記されていました。この時間の学習問題は、「スマイル米作りの計画を立てよう」です。最初に、米作りには、どのような作業があるのかを発表しました。田植えや稲刈り、はぜかけ、中ぼし、脱穀などなど。

「すじまきって何だろう？」と稲作初体験の子がつぶやきます。すかさず先生が、「知っている人いますか？」と聞くと、稲作お手伝いの経験がある子が、「うん、知ってる！」と言い、みんなに説明してくれる姿が見られました。地域講師の先生からは、中干しや脱穀についての説明がありました。「稲刈りした後、昔(江戸時代、大正時代)の道具で脱穀するんだよ。」との言葉に、目を輝かせる子どもたち。「どんな道具なんだろう？」「早くやってみたいな！」という気持ちの表れだったと思います。

質問タイムでは、「一番大変な作業は？」「苗を何本ずつ植えればいいのか？」「お米って何種類あるの？」「何日ぐらいで稲って育つの？」といった疑問を出し、講師の先生にわかりやすく教えていただきました。また、どんな順番で作業を行っていくのかを考える場面では、「すじまきと田起こして、どっちが先なの？」という疑問をもった子どもたち。お互いの考えを伝え合うのですが、結論はなかなか出ません…。しかし、満を持して手を挙げる一人の子。「自分の家では、すじまきをやってから田起こし。そのあとで苗だしをするよ。」という発表に、全員が納得。やはり、経験者の言葉は重いですね。

作業の順番も明確になり、見通しがついた子どもたち。最後の感想の「知らなかったことを教えてもらえてよかったです。」「一つ一つの作業を一生懸命やりたいです。」「これからのお米作りで、教わったことをしっかりとやりたいです。」「これからのお米作り、みんなで協力してやっていきたいです。」というやる気に満ちた言葉。5年生全員の意欲がとっても伝わってきました。さあ、いよいよ米作りの作業が始まります。がんばれ5年生!!

